

音楽器楽	部外秘	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙			
		教出			
<p><u>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</u> 口絵などの魅力的な解説や、いろいろな楽器の演奏を行っていく上での参考となるような文章や図解が多数付け加えられていて、生徒にとって多くを学ぶことができる教材となるよう配慮されている。《②・⑤・⑥・⑧》</p>					
<p><u>2. 教育基本法に基づく観点</u> 口絵などの解説や図解が充実しており、生徒の豊かな情操を養う上で、多くを学ぶことができる教材となっている。《①・②・③》</p>					
<p><u>3. 学習指導要領に基づく観点</u> 総ページ数が多く、しかも内容が凝縮されている部分が多く、より多くの情報が盛り込まれている。学習指導要領の第1学年〈目標〉における基礎的な表現の技能を身につけるという観点に照らすと、内容が多岐にわたり、高度なものが多く、配慮を要する。《③》</p>					
<p><u>4. 外的要素に関する観点</u> 文字や楽譜等の大きさは適切であるが、挿絵が多く、余白（行間のすき間）が多いと感じる。《①・②・③》</p>					
<p><u>5. 構成・配列に関する観点</u> アルトリコーダーについては、小学校で学んだソプラノリコーダーの運指から考えて練習させるという優れた方法が取られているが、箏曲においても「さくらさくら」のような比較的容易な2重奏で箏独自の奏法（合わせ爪、スクイ爪など）を学習できるような教材があった方が、様々な生徒の発達段階を考慮する点や基礎・基本となる能力をさらに高める点において効果があると考えられる。《①・④》</p>					
<p><u>6. 資料その他に関する観点</u> 情報が多いという点では優れているが、その分、内容が多岐にわたり生徒にとっては分かりにくくなっているという点について工夫を要する。《②》</p>					

音楽器楽	部外秘	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙			
		教芸			
1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点					
口絵に掲載されているプロの演奏家の楽器との出会いを語った言葉や、いろいろな楽器の演奏を行っていく上での参考となるような文章や図解が効果的に付け加えられていて、生徒にとって意欲的に学ぶことができる教材となるよう工夫されている。自己の判断と責任で道を切り拓くことができる能力の育成や豊かな人間性と創造性を備えさせるという点、国際社会で力強く生き抜くことができる能力の育成や学力の向上という点において優れている。《②・⑤・⑥・⑧》					
2. 教育基本法に基づく観点					
口絵や図解が、生徒にとって意欲的に学ぶことができる教材となるよう工夫されていて、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うという点、自主及び自立の精神を養うという点、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うという点において優れている。《①・②・③》					
3. 学習指導要領に基づく観点					
総ページ数が89ページでコンパクトであるが、アルトリコーダーやギター、箏、三味線、篠笛、尺八、打楽器等の奏法が分かりやすく書かれている点が優れている。例えばアルトリコーダーにおいて2小節の簡単な練習曲から16小節の2重奏までが丁寧に段階的に学べるよう教材が効果的に楽しく練習できるよう配置されており、学習指導要領の第1学年〈目標〉における基礎的な表現の技能を身につける点、音楽を愛好する心情を育てる点、音楽活動の楽しさを体験できる点において優れている。《①・②・③・⑧》					
4. 外的要素に関する観点					
文字や楽譜、挿絵等の大きさは適切で余白（行間のすき間）も適切であり、製本も丈夫である。《①・②・③》					
5. 構成・配列に関する観点					
教材が幅広く段階的に取り上げられ、様々な生徒の発達段階と対応している点や基礎・基本となる能力をさらに高める点において優れている。《①・④》					
6. 資料その他に関する観点					
アルトリコーダーやギター、箏、三味線、篠笛、尺八、打楽器等の奏法を単独で学習するだけでなく、それらを複数の奏者で演奏するアンサンブルの楽譜まで充実しており、豊富な資料も掲載されている。《③》					